

☆ご注意ください。
記載の適合型式以外への取付は、新規制対象外になります。
取付される前に必ずご確認ください。

保安基準適合品

組付作業手順

警告！

作業中の怪我・火傷

装着作業は専門の整備工場などに依頼してください。

【(1)ご使用の前に】を十分に理解した上で作業を実施してください。

※装着作業は必ず2名以上で行ってください。

※文中の純正とは自動車メーカーの標準装着品の意味

1.「スペアタイヤオフセットスペーサー取り付け

スペアタイヤを一旦外し、スペアタイヤストッパー2か所にスペアタイヤオフセットスペーサーを、M8*15フランジボルト、ナットにて固定する。(添付写真参照)

2. 「本体(A)の仮組付け」

本体(A)の取付けブラケット①②を純正ゴムに差込み、純正マフラーと
本体(A)をM10X35フランジボルト、ナット、ガスケットを再使用し締め付けして下さい。

3. 「本体(B)の仮組付け」

車両後方右の牽引フックを取外し付属ブラケットに交換して下さい
次に、付属ブラケットに付属ゴムを差し込んで下さい。

本体(B)の取付ブラケット③を付属ゴムに差込み、本体(B)フランジと本体(A)フランジの間に付属ガスケット43を挟み、付属フランジボルトM8X35フランジナットM8で仮縫め付けして下さい。

4. 「全体の本組み付け」

本体(A)(B)及び出口の位置関係や自動車の床、その他周辺部品とのクリアランス及び
フランジ間のガスケットのずれを確認しながら前から順番に指定トルクで締め付けてください。
(締め付けトルク400~500Kgf cm)

（例）右側ドアノブの位置関係を確認する
テールパイプと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認してください。不具合がある場合は最初から締め直してください。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーの場合熱で溶けたりします。

5. 「装着状態の確認」

全体の本組付けが完了したら、もう一度マフラーを手で揺すって各部のクリアランスを確認してください。エンジンを始動して暖機し、約2500回転にして各フランジからの排気漏れ、各部の異常音を点検して下さい。運転して再度、各フランジからの排気漏れ、又は各部の異常音を点検してください。異常があれば、最初から装着をやり直してください。

《異常があれば、面倒でも最初からやり直して下さい。》

以上で当社マフラーの装着が完了しました。もう一度本取扱説明書をよく読んで安全で快適なドライブをしましょう。

お願い

装着後200～300km走行した後にもう一度各部のボルト類の
増し締めと、各法兰ジ間のガス漏れの点検をして下さい。

2024/11/12作成

製品番号 : MZ120

トヨタ ランドクルーザー250 3BA-TRJ250W

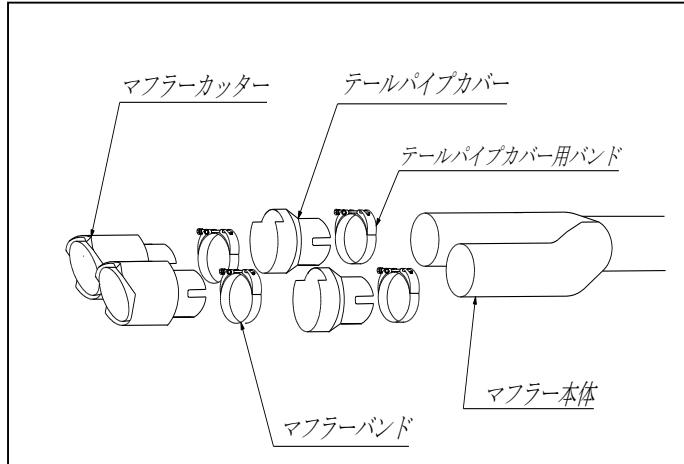
◎専用マフラークリッパーの組付け

マフラー本体パイプの先端に、テールパイプカバーとマフラークリップを先に差し込み、次にマフラークリッパーを差込み、リアバンパーの先端から出ないように調整してマフラークリップで締付けして下さい。

構成部品及び付属品リスト

カーボンテール

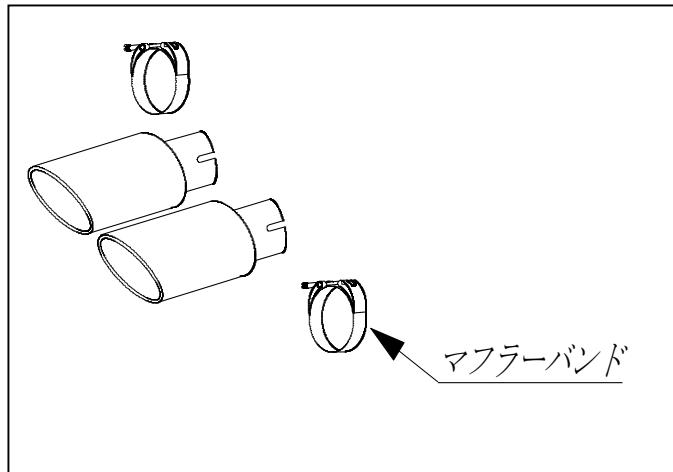
マフラークリッパー本体 : 4本 テールサイズ^φ 100 φ x150mm
テールパイプカバー用クリップ : 4個
テールパイプカバー : 4個



構成部品及び付属品リスト

ステンレステール

マフラークリッパー本体 : 4本 テールサイズ^φ 100 φ x150mm



ご注意 !

◎ マフラークリッパーと自動車のバンパーの位置関係、クリアランスを確認して下さい。

不具合がある場合は最初から締め直して下さい。クリアランス不足を放置すると異常な音が出たり、樹脂バンパーなどが熱で溶けたりすることがあります。

お願い!

装着後200~300km走行した後にもう一度各部のボルト類を増し締め及び点検を行って下さい。